

# 垂水病院 NEWS LETTER

Vol. 01

2021年 7月号

## 創刊にあたり 病院長 山本訓也

垂水病院の新病棟が竣工して3年が経過しました。この新しい病棟が目指したのは精神科病院のもつイメージを変えることでした。個室を数多く配し、入浴も個人のみでできるなど精神科病院への入院に伴う余計なストレスをできるかぎり排除しました。

患者のみなさんが集うテイルームには朝の陽ざしが深く差し込み、テイルームの広い窓を通して自然林の新緑が目の前に広がります。この新病棟にはその他にも入院された個人を尊重するための数多くの工夫が備わっています。そして当院の特色である医師、看護師、精神保健福祉士をはじめとする数多くのスタッフによる暖かいチーム医療がもたらす温もりを、同時に感じ取っていただければ幸いです。



## 大切にしていること

看護部長 猪井孝信

当院は依存症専門治療を中心に60年の歴史がある病院です。高台に建つ7階建ての病室から、南は淡路島、北は播磨の山々等が見渡せる素晴らしい展望が自慢のひとつです。

さて、建物や設備などのハード面が整ってきた中、“非日常を日常に”という当院のコンセプトに沿い、落ち着ける入院生活、温もりを感じていただけるおもてなしを目標に、職員一人ひとりが誠意を持って援助させていただくこと、そのようなソフト面の環境も引き続き大切にしていきたいと思えます。

患者様が安心感をもって療養に専念できるように、職員一同努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 外来・地域支援の取り組み

### デイケア

デイケアでは依存症治療を火・木曜、一般の精神疾患治療を月・水・金曜と、対象を分けて実施しています。依存症治療プログラムとして、基本的な知識や生活場面で実行できる対処方法の獲得を目的とした『アルコールミーティング』を実施しています。一般の精神疾患治療プログラムとしては、心理教育やSSTを中心とした『ホープグループ』を実施しています。他にも、創作活動や軽スポーツ(モルック、ゲートボール等)、クッキング、カラオケ、カフェタイム等があり、楽しく過ごせる場所を目指しています。



### 訪問看護

精神科訪問看護室は当院の外来を受診されている方を対象とし、看護師・精神保健福祉士がご自宅や施設などへ定期的に訪問させていただきます。

- ・話し相手がほしい、悩みを相談したい
- ・ひとり暮らしが不安
- ・規則的な生活を送りたい
- ・薬をきちんと飲めるようになりたい
- ・金銭管理ができるようになりたい
- などなど…

このような様々な不安を抱えている方々に、精神症状や生活環境での困難さを少しでも取り除き、その人らしい生活ができるようにサポートしています。

## 垂水病院あるある

よろしくお願ひします

「ここ西区やのに垂水病院って何で？」

「JR垂水駅前にいるけど、ここから病院までどうして行ったらええの？」とお問い合わせをいただいたり、利用者様にご迷惑をお掛けすることも…。



垂水病院は、昭和36年11月1日に神戸市垂水区押部谷町の地に開設されました。そして昭和57年8月1日に垂水区から分区され、神戸市西区押部谷町に変わりました。お問い合わせのような経緯もあり平成31年新病院建設時に名称変更を検討しましたが、いろいろあって見送りました。

初めてご挨拶する方には「神戸市西区の垂水病院〇〇です」と言ったりします。ややこしくて恐縮ですが、当院へお越しの際はぜひともご注意下さいね。

公益財団法人復光会

## 垂水病院

〒651-2202 神戸市西区押部谷町西盛566

TEL 078-994-1151(代) FAX 078-994-2941

<https://www.tarumi-hospital.jp>

